

キャラクター名 プレイヤー名

シンドローム	ブラム=ストーカー エグザイル	ワークス	FHチルドレンB	カヴァー	碑神研究所の兵器
オプション	パロール	年齢	不明 (10代前半の容姿)	性別	女
覚醒	命令	衝動	飢餓	初期侵食率	46 %
出自	天涯孤独	経験	力の暴走	邂逅	欲望・愛情

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	97
肉体	3		0			3	行動値	9
感覚	3	1	0			4	(非装備時)	9
精神	1		0			1	戦闘移動	14
社会	1		0			1	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	2		RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	FH	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
インヴェンション オブ アサザワールド	射撃	9r+7		11		本体、マイナーボルト、浸食6、HP5
従者	射撃	12r				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
FH幹部					
濃縮体					
玩具使い					
ロイス		最大財産P:	2	残り財産P:	1
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費	
黄昏の支配者	P	N			
イマジナリーフレンド・"あたし"	P 連帯感	N 偏愛			
製造者・碑神毒魔 (どぐま)	P 有為	N 恐怖			
異世界の魔王・魔王・Sロイス	P 感服	N 無関心			
初めての友達・ルア	P 友情	N 不安			
仮面の人・クラナッハ	P 好奇心	N			
ファラ・	P	N			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
赤色の従者	1	5						
効果:	従者作成							
死の紅	2	2	メジャー					
効果:	装甲-LV×3,代償HP3							
声なき者ども	2	-						
効果:	従者作成数+LV							
赤河の従僕	4	-						
効果:	従者の能力値+LV							
血の絆	1	3						
効果:	従者をシナリオ終了まで持続							
崩れずの群れ	1	2						
効果:	カパー							
命のカーテン	2	4						
効果:	カパーを射程10mに							
守護者の巨壁	1	6						
効果:	シーン攻撃も単体、自身に							
異形の刻印	7	-						
効果:	HP+LV×10 (異形の刻印)							
孤独の魔眼	2	4						
効果:	範囲を単体、自身に変更							
愚者の礼装	1	-						
効果:	従者の弓習得							
コンセブラムストーカー	2	2	シンドローム					
効果:	C-LV							
滅びの一矢	4	2	射撃					
効果:	D+LV+1、代償HP2							

碑神研究所、それはFHの中でも関わることが忌避される、自分たちが理想とするオーヴァードを作るために何でも犠牲にする、外道集団である。碑神毒魔(ひさかきどぐま)は、碑神研究室の中でもレネゲイドを濃縮し、一つの完全な生命を作ることを目指した。毒魔の最高傑作、14人のレネゲイド適性の高い少女を素材とし、そのうち13人を犠牲に作り出されたFHチルドレン、碑神の名を与えられたオーヴァードが碑神衣礼(ひさかきいれい)である。

彼女は最大13体の従者を作り出すことができ、その十三体は彼女にそっくりな姿であり、従者のことを、わたし、やイレイ、と呼ぶ彼女の中には犠牲になった13人の意識が不完全な形で混ざり合っており、いままでの記憶のほとんどを失っている。記憶を失った彼女は碑神研究所の隠し兵器として運用されていたが、時折命令にない行動をすることがあった。その行動とは人々を愛すること、ただしその行動の結末だけ見るとその人を殺すことである。混濁した記憶の中、微かに思い出せるのは、14人の少女が受けた愛情だけ。

そのため彼女は自分を愛してくれる存在を求めているが、彼女の求める愛情は14人分の愛情であり、彼女が与える愛情は14人分であり、簡単にいうと彼女の愛は相当に重い、一生一緒にいること、それが愛だと思っくらいに。

そして記憶を失い、兵器として使われてきた彼女には愛情を確かめる手段がその力しかなかった、当然14人のオーヴァードを基に作られた彼女の力は、その愛は普通のオーヴァードでは受けただけで砕け散ってしまうものであった。

「ねえ、わたし。わたしたちを愛してくれる人なんてこの世にいるのかな」イマジナリーフレンド、血濡れた死体の横で従者に話す。

「この人も壊れちゃった。ねえイレイ、なんで人って簡単に死んじゃうの？壊れない人はいないの？」

「ここから先はわたしたちの世界、さあわたし、愛してあげよう！このわたしたちを愛してくれないこの世界を！」イマジナリーフレンド、敵の軍団を殲滅する前に

「こんばんは、運の悪いお兄さん、わたしたちが仕事を始める前に早めにここを離れたほうがいいよ、ここから先はわたしたちの世界だから」イマジナリーフレンド、運悪く迷い込んでしまったオーヴァードを前に

